

# 商売の仕組み 実践学習

## 仕入れ、販売「楽しい」

「クッキーがおすすめです」「試食もできますよ」とさわやかに売り込み。親子連れらが足を止めて次々と買い求めている。

海星学院2年生の及川妃菜さんは「仕入れから接客までを勉強しよう」と参加しました。いろいろな年代のお客さんと話すのが気を遣いますがとても楽しい」、清水丘1年の福田早希さんは「3人の少人数で販売するので忙しくて大変です。でも買っていたらどうでしょう」と笑顔を見せていた。

この日は同じ会場で同商議所主催の創業個別相談会も開かれ、創業希望者が訪れていた。(山田晃司)



チャレンジ・ショップで室蘭や東北の名産品を販売する高校生たち

### 室蘭で初の高校生チャレンジ・ショップ

「高校生チャレンジ・ショップ in むろらん」(室蘭商工会議所主催)が22日、室蘭市中島本町のモルエ中島で行われ、市内の生徒らが地元や東日本大震災被災地の名産品を販売し、商売の仕組み、大変さを学んだ。

将来の起業のきっかけにしてみらおうと初めて実施。市内の高校生7チーム22人が参加した。各チームは模擬会社を設立し、予算8万円の範囲で商品を発注し、販売を通して利益確保を目指した。

商品は室蘭のヤン昆布や大黒糖まんじゅう、福島のせんべい、クッキー、釜石のラスク、缶詰など約60種類の中からチームごとに選定した。「いちっしやい」